

一昨年、鳥海山、田沢湖・乳頭温泉、駒ヶ岳、由利本荘方面の紅葉狩りを体験した。京都の紅葉に匹敵する鮮やかさ・美しさを感じる。

加えて由利矢島では、天寿酒造とアケビ農園を見学した。幼少の頃野山を駆け巡りアケビ採りに興じた日々は、川遊び同様に記憶に残る心の風景だ。この地域に住む人々も同様に、心身共に美しいのだろうと推測すると心が豊かになる。

秋の深まりは、千秋公園を散策中紅葉の色彩変化から読み取ることができる。色彩が減退して枯葉に近づく頃、枯葉同士の接触音はお互い去り行く秋を惜しむかのような囁きにさえ聞こえる。季節的に感じる秋田の9月は夏気候であり、その分秋は短く感じる。



千秋公園 外堀

《 冬(12~2月) 》

秋田市の積雪は、昨年・今年とも12月だった。昨年は年間の総積雪が20cm程度だったが、今年は40cmと多かった。

昨年は雪ダルマを造り、今年はカマクラを造った。いずれも歩行者が立ち止まって覗き見る様を目にすると、少しは癒しに役だったようだ。

冬の料理としては、ハタハタ寿司、ショツル鍋、カヤキ鍋等を記憶している。ハタハタが殆ど獲れないようで、昔懐かしい味には巡り会えていない。沼津港に隣接する長泉町で生活した私には、三島で味わったお刺身類が懐かしい。

秋田は漬物の種類が多い。中でも“いぶりがっこ”は、どこでも販売している。最近、中学校の同級生が自作するいぶりがっこにと巡り合った。



自作の 雪だるま

幼少の頃の味に最も近く懐かしかった。

やがて最大のイベントの正月を迎える。神棚を飾り終え、妻の手作りのおせち料理を囲んで熱燗を嗜む。紅白歌合戦の時間帯は、深い眠りの中だ。

日照日は千秋公園を散策する。積雪のある千秋公園は白銀の世界と輝く。数年に一度の積雪があった三島・長泉の光景を思い出すひとときである。



三吉神社 梵天祭

『終わりに』

個人的には、秋田に戻って本当に良かった。故郷を十分に知らずして生涯を終えるには心残りだ。現役生活は長かったが、毎日がサンデーの現状では時間が充分にある。公正さに対する感覚を磨き、足元を地に着けて確認すると共に広範に目配りし、興味があることには歳相応に取り組んで前進するつもりだ。

帰省の際は、是非お立ち寄りください。お待ちしております。ご健康とご多幸を祈念しております。

秋田市千秋北の丸在住 小田嶋昭夫 S39 化学

(akitakuni45@cna.ne.jp)

※個人情報流出対策に、編集・印刷・郵送・焼却全行程を事務局自宅で処理しています※